

【河川】「最上川の理解をより深めて頂きました」

平成30年8月27日
山形河川国道事務所

～大学生が来所にて出前講座を受講～

1. 経緯／概要

- 「出前講座」は、山形河川国道事務所が行っている施策や仕事内容について、担当する職員が直接出向いてわかりやすく説明する取組です。
- 今回は、法政大学と東北学院大学の学生が、最上川の流域管理や河川環境に関する研究の一環で来所されました。
- 山形河川国道事務所大会議室にて実施

【日時】平成30年7月23日(月)15時～16時

【対象】法政大学通信部学生18名

【講座】最上川の流域管理について

【日時】平成30年8月22日(水)13時30分～15時

【対象】東北学院大学経済学部経済学科環境経済ゼミ11名

【講座】最上川の河川環境について

2. 実施状況



3. 感想

- 大学の講義やゼミとはまた違い、新たな発見があり、今後のゼミでの研究をすすめる上で大変参考になった。
- 水辺の国勢調査を今回初めて知ったが、大変興味があった。
- 最上川に関する事業について、聞いたことはあったが具体的なイメージがわからなかったので、詳しく説明していただき参考になった。
- 河川法改正以降、河川の整備方針が変更したことを、最上川の事例を通して説明していただいたので、理解しやすく勉強になった。

4. その他

講座のメニューは、地域住民の方々や行政関係者はもちろん、小学生や中学生を対象としているものもあります。詳細については、山形河川国道事務所計画課にお気軽にご相談ください。